

令和6年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議  
＜全体会議（第18回定例会）議事録＞

日 時：2024年（令和6年）12月17日（火）19：00～20：45

場 所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席： 9名

欠席： 4名（石塚委員、吉田委員、羽入田委員、荒井委員）

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、入澤主幹、杉浦

---

## 1 協議事項

- ・辻堂駅遠藤線自転車走行空間整備工事について（道路整備課）

辻堂駅遠藤線の資料の案内図に赤色で示す範囲が、自転車走行空間を整備するための工事を実施する予定の区間。

緑色で示す区間は、神奈川県が整備予定の区間。

1月中旬頃からの工事予定で、株式会社幸和が工事を受注。

矢羽根は、自転車に道路左側の通行を促すこと、自動車にも自転車走行空間への注意を促すことになる。大庭トンネル内の自転車走行空間を道路に示す矢羽根は、反射タイプを使用する予定。

道路の拡張はなし。

藤沢西高等学校前も工事区間のため、今後、同校にも工事に関し情報提供を行う予定。

赤色の整備範囲外北側の東急前にかけての整備は、来年度以降に行う予定。

「バス停あり」の表示は、バス停の15m手前の車道に貼付している。歩道には貼付していないが、バス利用客がバスから降りた先が自転車通行帯であることもあり、安全を担保するため、歩道への貼付を今後検討してほしい旨を要望。

二番構公園から東急までの区間は、インターロッキングで分けられ、自転車通行帯があり、今回の工事による整備との混乱を防ぐため、事前に整理が必要ではないか。

大庭隧道において、車道通行が危険でもあり矢羽根を整備する意味があるのかという意見あり。

自転車走行空間の整備に伴い、自転車安全利用五則の資料を参考に添付。

①車道の左側通行が原則であり歩行者が優先、②交差点では信号と一時停止を守り安全確認、③夜間のライト点灯、④飲酒運転の禁止、⑤ヘルメットの着用が自転車安全利用五則。

自転車を運転しながらのスマホ操作、酒気帯び運転の罰則が強化。令和6年1月1日から道路交通法が改正され、自転車を運転中の新たな罰則が追加。

## 2 前回の確認

令和6年度第17回定例会議事録（案）＜資料1＞

### 3 各部会からの報告事項

#### (1) ゴルフ部会から〈資料2〉

2025年3月4日(火)、芙蓉カントリー倶楽部でゴルフコンペを開催予定。

湘南大庭地区に在住、在勤、又は在学の方16人を募集。(4人4組の新ペリア方式)

申込期間を1月20日(月)から1月31日(金)までとし、参加希望者は電話により申込を行う。2月までに申込者がある程度把握し、そこで16人に達していない場合には、部会で人数調整を行う。

費用は、参加人数により変動し、20,800円~24,100円(参加人数により変動)。

大庭城跡部会の活動をアピールする意味を含め、タイトルに「大庭城址」を入れ、「大庭城址を望む湘南の丘陵コース」とした。

#### (2) セカンドライフ部会から〈資料3〉

12月7日にドローン講座を開催した。

応募者28人に対し、抽選で決定した16人の参加者にアンケートを行い、その集計結果を示した。

参加者16人のうち、男性が6人で約37%、女性が10人で約63%の割合によるアンケートを集計したもの。

参加者の住所は、湘南大庭地区が約37%、その他が約63%の割合。

全体を通しての感想は、とても良好だった。

次回は1月18日(土)、レザークラフト講座を開催予定。

募集人数と同数の応募人数があり、16人が参加予定。

湘南大庭市民センターの陶芸室を使用、参加者には3グループに分かれ、作業していただく予定。

有償の講師1人、無償の講師補助2人が参加予定。

講座の開催時間のうち60分で、三角形のコインケースを制作予定。

参加者の実費は、1人あたり700円~900円程度で調整。

開催日が近くなったら、開催日時や持参するもの等、確認のため事務局から参加者にメールや電話で案内する。

#### (3) かるた部会から〈資料4〉

資料では、一次選定通過作品の一覧を示し、二次選定通過した最終選定結果候補の44作品には★を付けている。

選定者の過半数を超えた37作品は最終選定作品としたい。

残り7作品は、次のとおり扱いたい。

「あ9」「さ13」「ひ8」は、二次選定者の過半数が選定したため、最終選定作品としたい。

「ほ3」「も7」は、二次選定者の過半数未達の選定率だが、他の同じ頭

文字と比べ選定率は一番高い（４２％）。

「ふ１７」と「れ１」は、選定者全体の過半数に達していないが、同じ頭文字の中で選定票が一番多く、一次選定者の過半数が選定したものの。この２文字は、１９日に開催する部会で選定作品とするか決定したい。

前回の定例会で、いくつか二次選定者から寄せられた意見を提示したが、新たに寄せられた意見は次のとおり。二次選定は、選定者が集まり意見を交換しながら選定するものと捉えていたが、クラウドを使用した選定方法で少々残念だった。

１２月１６日（月）に石川小学校と滝の沢小学校を訪問。氏名の公開又は非公開につき、生徒の意思確認を行うための応募用紙のチェック欄に、チェックのない生徒に意思確認を行っていただくよう、両校長に依頼。

その他４校は、事務局から電話連絡により確認を行っている。

今後、入札の結果により印刷業者が決定したら、かるたの小冊子と箱のデザイン等を同業者と調整の予定。

#### （４）大庭城跡部会から〈資料５〉

１２月１４日（土）、本庁で開催されたワークショップに参加してきた。

未来に伝えたい文化財として、「藤沢宿」・「江の島」・「大庭城」の保存と活用に向けたアイデアを募集するもの。

１３時から１７時までの４時間。各テーマ２０人まで、申込先着順により合計６０人を募集。

ワークショップでは、「大庭城」の知名度が他２つと比べ低いとの意見を受け、知名度の上昇に向けて、今後注力したい。

第２回シンポジウムのテーマを「お城のあるまち・子ども達の学びに活かす」とした。

シンポジウムの冒頭で、ドローンで撮影した大庭城跡の映像を流したい。

座談会（トークセッション）の事前打合せを行うべく、１月１６日（木）午後を第一候補としたい。→座談会登壇予定者との都合調整が難しく、１月１５日（水）１４時から市民センター相談室で行う方向で調整中。

昨年度、シンポジウムの際に大庭城最中（もなか）を販売していたが、今年度も販売は可能か。→市民センターの入口の外に簡易テントを設営し、そこで販売していただくことになる可能性あり。センター施設内での販売は、調整必要。

#### （５）デジタル推進部会から

今年度、市民センターまでなかなか来れない高齢者のため、「簡単スマホ教室」を小糸市民の家で実施してみた。

参加者が開始時刻までに来ない場合の電話連絡等、課題あり。

市民の家での参加者は、市民センターでの開催よりも少数だった。

市民の家での開催に地域住民の需要があるか、来年度も今年度と同様に市民の家を使用し、状況をみながら判断したい。

来年度は、滝の沢市民の家を使用し開催を検討。

そこでの参加者数やアンケート等をみながら、再来年度以降の開催を検討していきたい。

(6) 子ども居場所づくり部会から

2025年1月、市民センターのイベントで参加した子どもを対象に、竹とんぼを制作する事業を実施したい。

1月に開催する公民館事業と連携し、事業を実施できたらよい。公民館事業は公民館担当に別途確認。

#### 4 その他

(1) 地区交流会について

情報交換と横断的な連携の強化のため、市内各地区の郷土づくり推進会議委員を対象とした交流会を本庁で開催。

開催日時は、2025年2月7日（金）10時から2時間程度を予定。

参加者は約50人で、各地区からは3人程度を見込む。

発表を希望する場合には、事前に申出が必要。

今年度、制作中の「かるた」等を発表したら如何か、事務局から提案。

(2) 全体集会について

前回の定例会で、全体集会の候補日を3月20日と3月22日としたが、第一希望日を3月20日としたい。

開催時間は、2時間程度を見込む。

1月7日の定例会で、活性化協議会委員の意見を盛り込み、議題内容を決定する。

Slido（スライド）を使い、参加者から意見を挙げていただくことを検討。

(3) 予算執行状況表

前回の定例会で提示した内容を修正。今後、執行予定の費用を赤字で示す。

ゴルフコンペ、大庭城跡、全体集会のチラシを製作に向け、上の表の「回覧カラー用紙（赤字）」を購入予定であり、現在他のチラシ製作の予定なし。

下の表の「ジャンボかるた収納袋」を購入予定。

予算執行残額の範囲内で、健康相談事業等を検討。

来年度の予算が確定したら、今年度の予算との比較表がほしい。

以上

【次回定例会】令和7年1月7日（火）午後7時～

湘南大庭市民センター2階 第1談話室